

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 関有知高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年1月28日(火) 15:00~16:30
- 3 開催場所 関有知高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	横山 さつき	中部学院大学短期大学部社会福祉学科 教授
副会長	澤田 通直	下有知中学校 校長(欠席)
委員	山田 信之	関青年会議所 理事長
	松田 和彦	しもうちふれあいまちづくり協議会 総務部長
	武田 由美子	特別養護老人ホーム ハートフル 総務主任(欠席)
	今井 典子	下有知保育園 主任保育士
	田原 晃成	せき・まちづくりNPO ぶうめらん 事務局
	古田 勇貴	関市役所市民協働課 事務員
	北村 清司	本校PTA 会長
学校側	廣江 修	校長
	山田 哲志	教頭
	小栗 啓茂	事務長
	名和 憲一	教務主任
	片山 大輔	図書・情報管理主任
	吉田 麻衣子	研修主事
	長尾 真由里	生徒指導主事
	瓜田 裕哉	特別活動係長
	福山 美苗	保健主事
	辻 祥平	進路指導主事
	吉野 典子	生活デザイン科主任

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) スクール・ミッションの策定について

・過去2回の運営協議会を経て作成した文案について、県からの修正案はほぼ原案どおりであった。

意見1:「学び直し」が「確かな学力」に変更となっているが、「学び直し」は手法であるため、「確かな学力」のほうがふさわしい。

意見2:「活きる」が「生きる」に変更となっているが、文部科学省の用いる要領等も「生きる」が使用されているためこの活用がふさわしい。

#### (2) 学校経営計画の報告について

#### ①学校経営

- ・総合的な探究の時間で2年生が実施した関有知マルシェは多くの参集者に接客対応できたことで、満足度も高く自信につながった。

#### ②学習指導

- ・教科毎に定期的に課題を課したことにより、2年生は学習時間の増加が図られた。1年生については学習支援アプリの有効活用により効果が現れ始めている。

#### ③生徒指導

- ・全教員で月に一度の身だしなみ指導に取り組むなどの成果もあり、規律を守った生活を送れているものの、特定の生徒の遅刻が目立つため個に応じた指導を実施していきたい。

意見1：制服は男女で区別があるのか。

⇒ネクタイにパンツ、スカートにリボンといった2スタイルで選択できるようにしている。

意見2：規範遵守は必要だが、規範を自分たちで作ることや規範が作られた意味を知ること  
も大切になってくる。ルール作りに生徒を関わらせてはどうか。

⇒生徒の自発的な活動を推進したい。

意見3：携帯電話やICT端末の活用により聞取りが容易になったことで、どの組織もアンケートが増加傾向にある。しっかり回答できているか。

⇒県のアンケートは携帯電話等を用いて、学校独自は記述により実施しているが、どちらもしっかりと回答できている。本校生徒は記述の方が思いを素直に記載する傾向がある。

#### ④進路指導

- ・地域創生キャリアプランナーを有効活用することで、就職内定率100%を達成できた。

意見1：キャリアプランナーやスクールカウンセラー等外部人材は教員間で活用方法を共有し有効活用できているか。

⇒外部人材は活用時間が限られているが、支援を必要とする生徒情報を教職員間で共有することで有効活用できている。

### (3) 分掌からの報告について

生徒指導部（特別活動係）の成果と課題について

意見1：科学部が地域の生態系を調査しているが、地域の自然に学ぶことはすばらしい。

進路指導部の成果と課題について

意見1：進路決定については、どのようにしたら目標にたどり着くことができるかのロールモデルを構築し示せるとよい。

⇒生徒に年齢の近い20歳台前半の卒業生を招き、進路目標達成に向けて努力をした取り組みなどを語ってもらっている。

意見2：市内に就職する生徒の割合はどれくらいなのか

⇒例年、就職と進学はほぼ半数ずつの約60名程度であり、そのうち20名程度が市内に就職する。それ以外の生徒も近隣市町に就職している。

家庭教育部の成果と課題について

意見1：小学生が集まる放課後活動クラブが実施する企画の中でも、関有知高校生との交流会は参加者も多く人気である。

意見2：生徒が来園して実習してくれる楽しいふれあいは本当にありがたい。

### 6 会議のまとめ

- ・スクール・ミッションの達成に向けた活動を心掛けたい。
- ・学校全体の取組及び各分掌からの取組についての成果と課題等について、次年度への期待や改善案等具体的な意見を得た。
- ・よき地域社会人の育成に向け、規範意識をさらに醸成させる教育活動を行っていききたい。